時事新報

時事新報

社會改良は殖産興業と伴ふて要す

社會改良の說い兩三年來漸く世上に盛にして今い朝野都鄙れ別なく總て皆熱心なるが如し左ればにや衣食住の事と始めとして男女の交際と云ひ宴會の体裁と云ひ演劇の仕組と云ひ何れも改良の談を聞かざるなし蓋し改良とは舊弊を改めて新利に就くの事にして今日の社會改良とい取も直さず日本風の舊習故態を脫して西洋の新規模に倣ふとあらん日本の衣食住は不便不良にして且つ衛生に佳あらず宜しく西洋風に改むべし日本には男女の交際あくして社交の空氣甚だ暢和と欠くふ似より宜しく西洋の風俗を移して兩性交際の端を開くべし日本の宴會の体裁は其始先は甚ぞ窮屈ふして終りは甚だ乱暴ふ流るゝの弊あり西洋風の宴會の淡泊にして却て情味の濃かあるに如かず日本の演劇はその仕組野鄙簡單にして觀るふ堪ねず西洋風の都雅にして無限の興致を存するものと代用すべし其他彼と云ひ是と云ひ社會の表面を見渡せば事の改良すべきもの一にして足らず一日も早く之と改良ふ盡しく日本社會の善美を祈るの熱心に於ては我輩い唯與實社會改良を謀るの衷情一時の熱に狂して前後の始末と忘却するとを欲せざるものあり凡そ人間の一擧一動い金錢の之に伴ふものにして一襲の衣裳、舊きと脫して新しきふ換ふるも猶ほ金錢の問題に屬す況や社會萬般の事を擧ゐて一切之を新樣に規模に改良せんとするふはみきに相應するの金錢を要するは勿論の事にして社會改良の深淺は金錢の多少に依りと云ふも敢て不可なかる可し左れば兩三年來社會改良論の頗る喧しきにも似ず顧て改良の實跡を問へば甚だ頼み少あきが如しと申す次第は都鄙とも洋服と着するもの漸く多く洋食を喫し洋酒と飲むもの亦少あらふず交際社會の有樣を見れば夜會宴會など次第に西洋風の体裁に改まり演劇の改良も略ぼ其緒に就き社會改良の前途甚ぞ望みありと得々たる顏色をなしもものあれども眼と轉ぜて金錢の世界と見れば國中何の處にも殖産興業の新に起りたるものあるを聞うざるのみならず近來い民間の困窮日に甚ぞくして國費政費と支ゆる國税地方税の支出ふすふ猶ほ苦痛を訴ふる必死切迫の場合なるに此等の衰はきふる有樣より觀ると云ふは酔奥贅澤とも申すべき衣食住以下の改良に金錢を費すの餘裕い何きの處にあるべきや且つ今の日本の社會改良は漸く改良の門ふ入りて未だ其堂ふ達する能はず云はゞ中途半途ふあるものふして例へば衣食住の事にても公用にい西洋服を着せるも私事にい日本服も入用あり夕い西洋に食して朝い日本ふ餐し客間にい椅子卓子を備へて膳手ふい疊を敷込むあゞ半化半改の異樣と現ぞながら詰り入費は二倍の額を要するの仕儀あればもし一般社會の改良としてか〜る順序を踏まゝめんとならば金錢は本たる國内の殖産興業は二倍の緊急に應して始めて劃合に叶ふ可きほどの次第あるに其本い依然舊の如くにして民間の衰弱は日々に重きふ昭るの今日、徒らに社會改良の熱に狂して其改良の大本を忘却するが如きは之を稱して智者の事とは云ふ可らざるが如し蓋ぞ社會の改良い元來國の殖産興業と相伴ふべきものにして改良の淺深い金錢の多少ふ在て存する事あれば殖産興業の如何を問はずして徒らに衣服食物男女交際等の改良に從事そるが如ぞに至ていい一時一周邊の改良はともかくも到底日本は全社會と興場して是非と共に改良の域に臨るあとは思ひも寄らざる事あらん今や日本の國民は日々に衰弊して顏に菜色を呈するにも拘らず國費は止むを得ざるの急に促されて避るふ路なし此間ふ處して機宜を料理するは實に經世家の苦心と云ふ可し彼の都門の青年男女が盛裝艶服ふ翻ゝ相携へて堂上ふ舞蹈そると見て以て社會改良の實を擧たりとするが如きは我輩の知らざる所ゐり

官報

○布哇出稼日本人衛生景況（昨日の續）

我出稼人は大概壮齢二十歳以上の者より元來脚氣病に罹り易きは二十歳以下の者ありと雖も出稼人中患者の最も多きは三十乃至四十歳の間に在り是恐くは二十乃至三十歳の者本患に罹ること少ゐきにあらざるも徴兵の關係よりして乙の渡航者は自然甲より少ゐきに由るあらん敗未だ之を詳にするを得ず又女子の脚氣病に罹る者は極めて稀ゐるを常とす加之出稼の婦女其數四百餘人に過ぎざるを以て男女の間に正確の比較を畢ぐること能はず醫士某の報告に據れば同時の渡航して同地に業を執る者の中脚氣病に罹るものは獨身者に多しと其然る故は有要者は自然身體居室の清潔、食物の調理、精神の安逸等に因りて甲より優れる所あるにあらん敗或人の所謂手淫の脚氣病に關係を有して此結果を來すとの說に至りては未だ之を詳明するを得ず又本患に罹る者は常國に來りて初發する者多く且在郷の日海邊に住居し漁時海邊に住し漁時患に罹るもの多し如し予ラハイナに於て實驗せしに密て海邊に住し漁時患に罹る者は胸背の膂筋に僂麻質私の痕を殊に多かりし海に出て重症なりし其他此種の患者は胸背の膂多少之あらざるあしと雖も脚氣は百分の四、五五、二百七十餘人の同縣人は悉くマウイ島中脚氣の最も多きスプレックルスウィルに在るを以て此成績を擧げしもあらん廣島縣は一九、三三山口縣は一一、四二なり

其他の縣に於ては人口甚だ少ゐくして一二の患者あれば忽ち高度の比例を呈するが故に之を以て直に某縣人の本患に罹り易きを斷定し難し氣候は各島多少の差ゐきにあらざれども概ね華氏八十度を中とす然れども消涼ある海風斷へず吹來れるを以て敢て暑熱に苦むことなし降雨の度亦各地一樣ならず政地に於ては雨量多く或地に於ては之に反して一年中僅に二三回に過ぎず

居室は概ね狹隘なり雖も多人數雜寝の處に於ては是亦己むを得ざるの勢なり職業を云へば主として甘蔗の搾製に從事し又砂糖製造場に使役せらるゝ者あり而して一日の勞働時間は十時間とし正午喫飯の時に於て一時間の休憩を得るの外終日立ち通しにして業を執らざるを得ざるが故に始めて業に就きし者は下肢の倦怠、疼痛、麻痺（甚敷くは脚氣の一部因あらん）、腰痛、肩痛等を感じ又蔗葉の刺戟に由り手足に瘙痒を生ずる等一時頗る困苦を訴ふる者多しと雖も元來實力を要すの職に至りては本邦に於ける農業よりも容易の事とす

食物は大抵米を主とし傍ら牛肉蔬菜を用ふ然れども專ら魚類を用ひ自然食に因るの弊あしと雖も政は脚氣の米食に因るの說を信じ小麦粉、ポイ（芋を蒸し搗碎して糊狀とあしたるもの）を以て米に代ふる者あり出稼人の米食に因て土人の常食物あるを嘆へ食料改正の必要を說く者多し予ラハイナに於て脚氣の最も甚しかりしさき耕主に識り全く米食を廢し麦粉、牛肉、芋及他の野菜を以て之に代へたりしに一週を出でずして患者快（殊に浮腫と心下苦悶の減退）を覺へしもの多く且爾後新患者の一生甚だ少ゐかりき米を廢すると同時に食物を改良し殊に牛肉を多量に與へしと以て其効の何れに在るやは断言し難きも食物の改正に由りて此成績を得たりとは云ふべからざるなり

布哇國に一種の熱病あり時々一地方を限りて流行す其主症たる劇熱と頭痛に於て輕過は二週より三週に至る疑も流行性感冒症に類すれども該症の如く呼吸器粘膜に加答兒を發せず又熱神を侵し譫妄狂を生ずるとあれども他の症狀に於て同じからざると多し故に予は假に之を布哇熱と名けたり其病原は之を詳にせざれども彼の臺灣熱の如き一種のマラリア性疾患ならん敗未だ解に至らざるを以て其歇月を經るの後は助膜炎、腹膜炎、腦膜炎、氣管支炎、腸加答兒等を續發して死せし者あり本患の紀事は農に東京醫事新誌を以て報道せしが故に愛に省せず

愛に一言を要することあり出稼人中には往々梅毒、心臟病、或は胃病等を有し勞働に堪へざるの出稼人を選ぶに際し單に外觀に由り一見强壯の觀ゐある者を取り醫士をして其身體を檢査せしむるとき之は此の如き弊あるを免れず是召募の時に當り彼の假夫婦の事と同じく注意せられんとを切望するあり（以下略す）（本年二月十四日官報）

○十八百八十五年ゐ於ける世界郵便の數

與逸國税官家の調査に據れば世界人民が交換せし郵便の數は千八百六十五年に於て三、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇通、千八百七十三年に於て三、三〇〇、〇〇〇通ありしが千八百八十年に於ては書狀及葉書を併て六、二五七、〇〇〇通に增加せり今又北米合衆國郵政局長の報告に據れば其後郵便の數甚だ增加し千八百八十五年に於て世界人民が發送せし書狀は五、八四九、〇〇〇、〇〇〇通、葉書は一、〇七七、〇〇〇通、印刷物は四、六一〇、〇〇〇、〇〇〇箇、見本類は一〇四、〇〇〇、〇〇〇箇、同合計一、一六四、〇〇〇、〇〇〇箇に上りて之を取扱ひたる郵便局は一五四、〇〇〇箇所、官吏は四九、〇〇〇人ありと

今千八百八十五年中全世界發送の書狀及葉書を五大洲により分別すれば歐羅巴に於ては書狀三、八九四、一〇〇、〇〇〇通、葉書五九七、五〇〇、〇〇〇通、亞米利加に於ては書狀一、五九六、八〇〇、〇〇〇通、葉書三九八、〇〇〇、〇〇〇通、亞細亞に於ては書狀二四六、〇〇〇、〇〇〇通、葉書八、〇〇〇、〇〇〇通、濠太剌利に於ては書狀九三、四〇〇、〇〇〇通、葉書二、二〇〇、〇〇〇通、阿非利加に於ては書狀一八、七〇〇、〇〇〇通、葉書三〇〇、〇〇〇通ありと

又同年中發送の各種郵便物の總數は歐羅巴に於て七、二四九、三〇〇、〇〇〇箇亞米利加に於て三、八一九、〇〇〇、〇〇〇箇、亞細亞に於て三、〇〇〇、〇〇〇箇、濠太剌利に於て一五一、四〇〇、〇〇〇箇、阿非利加に於て三、七〇〇、〇〇〇箇ありと

同年中發送の書狀及葉書を分類すれば濠太剌利に於ては人口一人に付き二回通、歐羅巴に於ては同一回通、亞細亞に於ては同〇・四通、阿非利加に於ては同〇・九通ありと（本年二月十五日官報）

雜報

○加奈陀の內閣は國會の解散と漁獵事件との爲め今ゐも顚覆せんずる勢ゐある旨は去る頃の本紙上に記載したるが去一月廿一日オッタワ發の報を見れば今の加奈陀政府の困難は同國に政治歴史に於て未曾有とも云ふべき有樣にて遞信大臣アレキサンダー カンベル大藏大臣ダブリユウ エ マックレヲン內國歳入事務大臣コスチガンの三氏い今回の國會解散の事並に其他の政務ふつき總理大臣マクドナルド氏と意見の合はざる趣にて數日前に辞表を差出し前週に內閣會議には出席せざりしよしなるが自由黨の人々は右諸大臣の擧動はマクドナルド黨の弱勢と示すものゐとして頻りに欣び居れり又本日ゐ至り國務大臣ロエームス エ チャプレー氏も辞表を出し自分の黨員の首領たる人々ゐ今後余の政事上の位置は全く在來に反對ふたるものになるべき旨を話ふたりと云々と見えたり

○ビスマーク公の演說　去月十一日獨逸の首相ビスマーク公が國會に於て獨逸陸軍增兵の事ゐ主張ふたる演說は大に世人の注意を惹起したる旨屢々前說の紙上ふ記載せしが近着の米國郵船に依りて其全文を得たるを之を左ふ略載すべし偖て當日は陸軍擴張議案の第二讀會を開くと以て國會は議員傍聽人ふて場內充滿し議長ビースドルフ氏は起て委員の呈出したる陸軍議案を朗讀しモルトケ將軍は原案贊成の旨を演說し續てスタッフ〜ンベルグ男が演說せる中途に於てビスマーク公は議院に入來りスタッフ〜ンベルグ男は演說終るや否や直ふ起て演說して曰く陸軍擴張議案は當議院に於て可決あるべしとも思はれざるが抑も今日の此擴張は止を得ざるに出づるものあり我輩は歐洲は平和を維持せざるべからざる者あるが兵力强勢あるに非ずんば此目的を達すること能はず目下獨逸と各國との間は其關係深密ふして殊に露國との關係の如きは疑ふにも及ばざる所あり左ればバルガリヤ事件に關係して之が爲め戰端を開く等れ事あらばその獨逸ふ背いて非國と企つるものと云ふべしバルガリヤは獨逸に對して暴ゐて如何なる痛痒かある其國は何人の支配に屬するも可あり獨逸に取ては決して異ることなゐ露國との交情い甚ぞ大切あるものふしてバルガリヤの故を以て同國を敵視するが如きは我輩の酷さゐる所あり然りと雖ども各國との關係をして目下の如く平和に維持せるとを得せゐむるは議員諸君が思考する所よりは一層困難あるものゐきば我輩は議院ふ攻擊を受けて直ふ此擴張と思ひ止まるが如ぞことは決して爲す能はず佛國との關係いも亦ふ美しく連續するものなり然きども將來之を永續せんとするは六ケ敷き事なり如何とあれば之と永續せんとするには是ぜ兩國間に存在せる一種の感情（獨佛戰爭後常に佛國が獨逸を怨むと云ふ）を掃除せざるべからざればなり佛國をして恨々の念を去らし然んとそるは我輩が常に盡力したる所にして目下同國と戰端を開く程の恐れもなく又仮令ひ戰端を開くふとゐるも恐るゝに足らざる程の事はあきにもせよ防禦の備は怠ること能はず何時たりとも開戰の不幸に際するふとあらば其時猛狂するは好きふからざる事なれは常ふ十分の用意と爲し居らざるべからず是れ此陸軍議案第一は目的あり佛國政府が平和の樂動を爲し且同國人民の一部が事を好まざるは余が確信そる所あり然りと雖ども過去の成行を推考そる時は永久佛國と平和を維持するは決して望むべからざる事たりて獨逸に向ひて平生するとあるべけれども若ふ我輩獨逸からば若ふ我輩獨逸ることあらばそれ其仕度するふとと得ずの外なし試に見ふても一としてアラザルとなすべき者に向つて陰雨し易い発るべからざる佛兵は精練あり防禦を怠る能はざる十三年の間ゐ於て他ゐ想せよ獨逸は再び右諸ゐから予其時に及んで之が備を爲さざるを於て之が備を爲さざるを

○各宗協議所　去る下佛教各宗協議所創立たるに某宗の外員を出し都合廿四大体を議し曹洞宗事には眞宗の寺田尾上某都合三名を某眞宗の土岐善鄙某の逐條議と開く又同日會合したる校と開くしも大分贊成者あり也は及ばざりきとの

○東京郵便局の電報　る事あるが其瓦斯圓餘にも及びたる上にも損益あるべ

○比較表　目下品海れ途に就く旨を前依り來る二十日東州清水港へ立寄り日ゐ赤ゞ確定せざ

寄

○府縣會議員諸君に　追ふて進むにも係らは今更愛國子は辨ら〜所あり畢竟合理を瞰する彼の英あり業の製造業盛大の致す空言ふ非ずそは彼の悉せらる〜所あり鑑業の盛大にならざる彼の歐米諸强國と比べて見るときは此の論の必要は議員諸君論之れが計畫の手段るべしと雖も指向の手續を經て府縣會方税と以て每年二名業盛大ある土地を巡著の上は我公使領事となさば一回六ケ月るべしそして其の一九縣にては百廿六人少ゐき金高でもあらゐて廿名三府三十

廣告　伊豆國丹那村亞刺比亞馬會社　今般伊人ランヲ託シ一大セン百五十頭ノ內雌雄

井上達也先生著　○井上眼療書　內壁眼手術篇　全一冊　定價金一圓郵税十二錢　白內障ハ世界中難ノ手術ナルニ諸氏ハ知ラザルナリ

本會ハ巳ニ墨上兩皇后宮ノ叡覽ヲ辱セリ依テ來ル九日ヨリ十日間縱覽者許ス　二月六日

綿羊